



北斗句会

十二月定例会（三日）

兼題

「木」「日」

五十音順

特選は特選

石田きよし選

おれん家を静かによぎる除夜の鐘

大崎石州

特選 皺の手の諸々語る柚子湯かな

大森康正

足軽き通院帰り冬うらら

竹内雲泉

五千歩のいつしか崩れ寒き朝

田中資凡

特選 畑の隅焼いも食みつ寂聴論

長池豆陽

特選 特攻の墓碑に影おく冬紅葉

藤田紀潮

富士山と大山はるか木の葉散る

宮下ひかる

日を浴ぶる土に列なす芽麦かな

森田光彦

小春日やラジオ片手に座る土手

山縣秀雄



小春日や遊びどころのちぎれ雲

石田きよし